

N700系「歯車箱破損事故」について申し入れ！ 早急に原因の究明と対策を！！

2010年3月3日、博多発東京行き「のぞみ56号」(N2編成・JR西日本所属)は12号車N○3歯車箱破損が発生し、新神戸で運転を打ち切りました。マスコミ発表によると、白煙が車内まで立ち込め乗客の数人が体調を悪くし救急車で搬送されたという事です。

この事象に対してJR東海労新幹線地本は、N編成はJR東海エリアに乗り入れていることや、Z編成(JR東海所属)においても同種の機器・構造的には同じ歯車箱を搭載していると思われることから、安全上重大な問題であると認識し、新幹線鉄道事業本部に対して原因に関する解明事項と対策等について、8項目にわたり申し入れを行いました。早急に業務委員会を開催し安全確保に向けて協議をすることを求めます。

3月8日のマスコミ発表によると、「小歯車の軸受(ベアリング)コロが外れて、内部から歯車箱を突き破った」ということです。なぜそうなったのかを究明し、早急に全社員に公表することを要求します。

写真は破損した歯車箱。



(*写真、図はインターネット配信記事より)

新幹線のギアボックスの
推定破損状況(概念図)

